

# ♪ 月わが家のアイドル ♪



楠風台  
塩谷 心ちゃん（1歳11カ月）  
我が家のアイドル。心優しい子に育ってね！



別井  
西野 心鈴ちゃん（1歳1カ月）  
いつもニコニコ笑顔ありがとう♡



木戸山町  
櫻井 凰翔ちゃん（1歳5カ月）  
これからも毎日いっぱい笑おうね♡

## みんなの広場

### 宛先

住所・氏名(ふりがな)・電話番号	584-8511	常盤町1番1号
		富田林市役所都市魅力課

わが家のアイドル（対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可）は、写真に、メッセージ（20字程度）を添え、住所、保護者とお子さんの名前（ふりがな）、撮影時の年齢（月齢）、電話番号を記入し、封書で左記の宛先まで応募してください。

また、市ウェブサイトからもご応募いただけます（右図のQRコードから応募ページにアクセスできます）。  
なお、今応募された場合、掲載は約6カ月後になります。



## 100歳 おめでとうございます！



3月13日、山本 ヤスエさんが100歳の誕生日を迎えられました。お肉やお魚も食べられるそうで、お元気な姿を見せていただきました。

## 短歌

地層 島村 さゆり選

秀歌 Ⅱ  
観客の鳴り物なしの球場の打球の冴えし心地  
よき音 伏見堂 箕浦 加陽子  
△選評▽コロナウイルスが蔓延している現在  
野球場も観客は居ない。いつもなら大勢の観  
客の喚声で消されてしまう打球の音、それが  
無観客故に心地よく響くという。その一点に  
的を絞って納得の出来る歌である。

ドクダミの白い十字花ひたすらに終息祈る姿  
にも似て 楠風台 正木 浩  
週末の一回だけの団らんは文字が飛び交う無  
言の会話 山手町 笹原 秀計  
現役時数多交換した名刺励んだ証処分躊躇う  
何かしら今朝の散歩は椋鳥と並んで歩く野辺  
の道筋 錦織南 山中 哲夫  
風わたり「ともにのり越えよう」の幟はため  
く誰もいない校庭 藤沢台 太田 富美子  
指先ではじけば音の鳴りそうな真紅の桜桃初  
夏運び来る 錦織南 島田 美保子  
深夜ドラマ終る頃なりかそかにも万両の実の  
こぼるる気配 選者 詠

※俳句のコーナーは、都合によりしばらくの間、休ませていただきます（9月号での掲載はありません）。

川柳・短歌は、それぞれ別のはがきで応募してください（1人各5点まで）。市内在住の人で未発表のものに限り、作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

10月号の「川柳」(宿題「急」)は8月31日(月)、11月号の「短歌」は9月30日(水)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。

## ともにのり越えよう！！

4月16日、新型コロナウイルスの流行により、全都道府県に対して緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出が制限されました。学校園においても臨時休業で子どもたちは外出できない日々が続きました。

テレビやインターネットでは毎日のように世界中の新型コロナウイルスの情報が流れ、多くの感染者数が伝えられるなど、未曾有の事態でした。そんな中で、医療従事者にインターネット上などで心ない言葉が発せられるなど、極めて残念なニュースが相次いで報道されました。

しかし、一方でキラリと光るいいニュースもありました。それは、「中学生が手作りマスクを作って県に寄贈する」「医療従事者のためにたくさんのカップや防護服が寄付される」「飲食店が病院に無料でお弁当を届ける」など、こんな大変な状況の中でも周りを思いやったり、感謝の意を表したりするなど心温まる内容でした。本市でもたくさんの人からマスクやフェイスシールド、消毒液などをいただきました（詳しくは、市ウェブサイト（コロナを乗り越えよう！みんなで一緒にのページ）をご覧ください）。

## 明日をためざして

こういう話を聞くと、こんな時だからこそ、一人一人にできることがあるのではないかと、この状況はみんなで協力するからこそ乗り越えられるのではないかと考えさせられます。

学校現場においても教職員が知恵をふりしぼり、子どもたちの声に耳を傾けながら、どうすれば良い環境で過ごせるのかを考えています。「ソーシャルディスタンスをとりながら、どのようにこれまで学校で行ってきた子ども同士の関係づくりを進めるのか」「子どもが感じたストレスを言葉にできる場面をいかに作るか」など、悩みは尽きませんが、紹介したニュースにもあったように、一人一人のちょっとした思いやりで互いに気持ちよく過ごすことができるのではないかと感じています。そして、その思いやりが広がることで、大人も子どもも一緒に、よりよく生きていく社会となるチャンスが訪れると信じています。

ピンチをチャンスに。  
「ともにのり越えよう！！」



教育指導室（内線364）

## みんなに乗って守り育てよう



### 地域公共交通

## コロナ禍における公共交通機関の状況について

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の影響や、それに伴う政府からの外出自粛要請により、「緊急事態宣言」期間中の公共交通利用者が通常時の6～9割に減少したことから、全国の公共交通は危機的状況に陥っています。

「公共交通の利用は感染リスクが高い」という先入観によって、将来の公共交通の存続に影響を及ぼさないよう、本市では、安全に公共交通を利用するための情報発信が必要だと考えています。

### ●交通事業者による安全・安心のための対策は？

公共交通を利用する皆さんにとっては、いわゆる「3密」を避けるために、公共交通機関の利用を控えようと考えがちなのではないでしょうか。鉄道やバス、タクシーなどの公共交通事業者は、利用者に安心してご乗車いただけるよう、車内や駅構内の清掃や換気はもちろん、ポスター啓発により利用者への注意喚起に努

めており、分散乗車の呼び掛けや混雑状況の案内をしている事業者もあります。また、安定した便数を維持できるように、運転手のマスク着用、手洗い、体温測定などの健康管理を行うなどの対策をしています。

### ●公共交通を安心して利用するために

公共交通機関で気を付けること



マスクの着用



会話を控える



ソーシャル  
ディスタンス  
距離をあける

利用する皆さんにおいても、感染リスクを低く抑えるために、「マスクの着用や手洗い」「会話はできるだけ控える」「なるべく間隔を空けて乗車する」などのご協力をお願いします。「ICカードなどを積極的に利用」することも、直接現金の受け渡しがないため、感染防止に効果があります。また、昼間時間帯は比較的空いている可能性が高いので、お出掛けの時間帯を変えてみるのも方法の一つです。

このような公共交通事業者の取り組みや利用者皆さんの協力で、安心して利用できる公共交通をみんなでつくっていきましょう。

道路交通課（内線416）